

10 月度理事会議事録（2025 年 10 月 14 日（火）開催）

1. 会長報告（9 月 9 日（火）～10 月 13 日（月）出席案件）

9/9（火）日本人会・理事会 於：本館
9/11（木）ジーユークリエイティブ 面談 於：本館
9/12（金）世界相撲選手権・チャリティーディナー 於：オリエンタルホテル
9/13（土）世界相撲選手権 於：ランシット大学
9/15（月）日泰友好茶会 於：大使公邸
9/20（土）・21（日）日本人会チャリティーバザー 於：ICONSIAM
9/24（水）日本人納骨堂秋季法要 於：日本人納骨堂
9/27（土）敬老の日祝賀会 於：本館
9/27（土）バンコク病院 JMS 感謝祭 於：バンコク病院
10/3（金）ITDA 日タイ文化交流センター寄付贈呈式 於：本館
10/10（金）日本人会・企画推進部会議 於：本館

2. 一般報告（事務局）

（1）9 月度個人会員動向

入会者 99 名 退会者 91 名 現会員数 4,673 名（内、準会員 29 名 会友会員 197 名）
（前年同月 4,849 名・前年同月比 96.3%）

（3）9 月度賛助会員

〈入会 2 社〉

- ・ENETECH (Thailand) Co.,Ltd.（エアコンの省エネ装置の販売）
- ・Visiongate Co.,Ltd.（幼児教育・体験型学習プログラムの運営）

〈退会 2 社〉

- ・Kanaech (Thailand) Co.,Ltd.
- ・Mitsubishi Heavy Industries (Thailand) Ltd.

現会員数 505 社（前年同月 499 社・前年同月比 101.2%）

（4）会員優待店

現在の有効店数 83 店舗（前月度と変更なし）

（5）9 月度会館来訪者数

本館：延数 183 名（実数 118 名）

別館：延数 1,806 名（実数 607 名）

合計：延数 1,989 名（実数 725 名）

（前年同月 延数 2,498 名（実数 915 名）前年同月比 79.6%（79.2%））

（6）会館貸出サービス

- ・9～11 月の法人利用を紹介した。学校の説明会や賛助会員主催のイベントで予約を頂いている。

（7）8 月度寄贈報告

- ・現金寄付

【納骨堂・カンチャナブリ基金】

高野山真言宗金剛峯寺、高野山真言宗務総長 今川泰伸様、高野山真言宗教学部長 桐生俊雅様より
合計 140,000 円ご寄付いただいた。

・本の寄贈

高橋芳子様、新保成美様、宮下莉鳳様、川西美由希様、新井様、その他 3 名様より、合計 129 冊寄
贈頂いた。

(8) 9 月度会計報告

- ・9 月度収入は、108 万バーツ (前年同月 217 万バーツ 前年同月比 49.9%)
- ・9 月度支出は、204 万バーツ (前年同月 162 万バーツ 前年同月比 126.1%)
- ・単月収支は、-96 万バーツ (前年同月 55 万バーツ 差額 -151 万バーツ)
- ・累計収支は、-48 万バーツ (前年同月 159 万バーツ 差額 -208 万バーツ)

(9) 2025 年度上期実績報告

- ・2025 年度上期収入は、1,287 万バーツ (前年実績 1,392 万バーツ 前年比 92.4%)
- ・2025 年度上期支出は、1,336 万バーツ (前年実績 1,233 万バーツ 前年比 108.3%)
- ・2025 年度上期収支は、-48 万バーツ (前年実績 +159 万バーツ 差額 -208 万バーツ)

【収入】英検を除き、全体的に減収している。特に個人会費・賛助会費の減収率が昨年度と比較し約
10%減収。昨年より伸びてきた広告関連の収入は主力の広告主が撤退したこともあり減収している。

【支出】総務部・給与・福利厚生費に関しては人員入替り・増加もあり、昨年より増加。企画推進部
に組み込んだ特別イベントの実施 (運動会やチャリティーバザーのステージ、展示会関連費用) も
あり支出が増加した。(企画推進部: 会員増強施策費: 予算 1,500,000 バーツ 累計支出 582,332.77
バーツ 消化率 38.8%) その他支出に関しては昨年度並み。

(10) その他報告

- ・9 月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

3. 共催・後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

(1) 事業名: 和菓子講座

- ・開催日: 2025 年 11 月 21 日 (金) 於: サイアム高島屋
 - ・主催: サイアム高島屋
 - ・要請事項: ロゴ使用、広報協力
- 異議なく承認された。

(2) 事業名: ラフの人々をつなぐ布の物語

- ・開催日: 2025 年 1 月 (選定中) 於: 日本人会別館
 - ・主催: ルンアルンプロジェクト
 - ・要請事項: ロゴ使用、広報協力、会場提供、参加費補助
- 異議なく承認された。

(3) 事業名: タイ現地幹部人材育成講座

- ・開催日: 2025 年 11 月 18 日～2026 年 2 月 18 日 於: オンライン (最終日は Crowne Plaza Bangkok)
 - ・主催: HRI (Thailand) Co., Ltd.
 - ・要請事項: ロゴ使用、広報協力
- 異議なく承認された。

(4) 事業名: サイアム高島屋 7 周年記念イベント「The WAGASHI」「いけばな展」

- ・開催日：2025 年 11 月 19 日～30 日 於：サイアム高島屋
- ・主催：サイアム高島屋
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

(5) 事業名：複数の言語と文化で子育てをする保護者の為のセミナー

- ・開催日：2025 年 11 月 29 日 於：シーナカリンウィロート大学
- ・主催：国際交流基金
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

(6) 事業名：T の極み 単独ライブ

- ・開催日：2025 年 12 月 21 日 於：日本人会別館
- ・主催：吉本興業
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

(7) 事業名：JAPAN EXPO THAILAND 2026

- ・開催日：2026 年 2 月 6 日～8 日 於：セントラルワールドプラザ
- ・主催：G-Yu Creative Co., Ltd.
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

(8) 事業名：ANA 寄席 2026 in Bangkok

- ・開催日：2026 年 2 月 28 日 於：Aksra Theatre
- ・主催：全日本空輸株式会社バンコク支店
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

4. (情報共有) タイ日本人会と名乗る偽広告 (事務局)

・10 月 7 日 (火)、会員より「Facebook 上に日本人会の偽アカウントと思われる広告投稿を見かけた」との連絡があった。配信元のアカウントのトップページ上には該当の投稿は確認できなかったが、職員の Facebook 上にも同様の偽広告が表示されたため、Facebook 運営側へ通報を行った。併せて、日本人会ホームページおよび LINE・SNS にて注意喚起を実施し、10 月 8 日 (水) には大使館の領事メールでも注意喚起を配信いただいた。また、他国の日本人会においても同様の偽広告が出回っている可能性があるとして判断し、アジア域内の日本人会へ情報共有を行ったところ、マレーシア日本人会と名乗る偽広告が確認されている。(マレーシア日本人会は存在せず、クアラルンプール日本人会、ジョホール日本人会、ペナン日本人会が存在している。)

5. (情報共有) チャリティーバザー開催報告 (事務局)

・9 月 20 日 (土)・21 日 (日) のチャリティーバザーにおいては、各方面にご協力いただき、感謝申し上げます。10 月 9 日時点のバザー収支速報としては、現金寄付は企業・団体・個人 104 社より 954,189 バーツ、ブース出店料として企業 25 社と JICA 様による協賛金を合わせ 438,849 バーツ、商品売り上げ合計 268,864 バーツ、収入合計は 1,661,902 バーツ。今年は ICONSIAM 様のご厚意により会場を無償でご提供いただいた。実費部分の警備代・清掃費用・椅子機のレンタル料・電気料金は負担して

おり、その他の支出を含めて、589,510 バーツとなった。

・支出のうち電気設備、電気料金については利用実態からすると過剰気味の感もあり、もう少し圧縮できたのではないかと考えている。出店社アンケートでも利用状況を確認しており、次年度は検討していきたい。

・昨年 2024 年のバザーと比較して、商品売上は減少したものの、現金寄付、ブース出店料は増加し、収支としては、1,072,392 バーツ、前年より 10 万バーツ程上回る見込みである。尚、商品寄付として企業 62 社、チャリティー団体 11 団体、当日のお手伝いとして 173 名の方にご協力をいただいた。

・2 日間合わせ 6,123 名の方にご来場いただき、ここ 10 年の記録と比べても過去最高の来場者を記録した。1 日目の会員優先入場の時間帯（10：00～12：00）にあまり来場者が見込めず、予定を早めて 11：30 頃に一般入場を始めた。両日とも、ステージで何か行われている時間帯に入場者数がピークになっている。（1 日目：15：00～T の極みマジックショー・2 日目：13：30～虹の学校ミュージカルショー）サイアム高島屋様スタッフによるパレードを 11:00-14:00 の間、サイアム高島屋館内全体とアイコンサイアム 4 階・7 階にて実施いただいた。

・来場者へ実施したアンケート結果を報告した。日本語版は 67 名にお答えいただき、年齢は 30 代が最多、初めての参加が約 60%、会員率約 80%、過半数が在タイ 3 年未満の方であり、「満足（とても満足・やや満足）」と回答した割合は約 80%、特に満足度の高かったブースとしては、ラッキードロー、キッズコーナー、サワディー品、虹の学校、サイアム高島屋、日本航空のブースであった。アンケートに回答した 67 名のうち 9 名はワークショップにも参加され、編み物手芸の会・クロントイ幼稚園共同ワークショップに参加された方が最も多かった。お買い物した金額については、昨年度同様「500B～999B」と回答した方が最も多く、昨年度に比べ「500B 未満」と答えた方の割合が増加した。流入経路としては、昨年度はニューズレターが最多であったが、今年度はホームページが最多となり、友人知人からの口コミで知った方も多かった。英語版は 19 名にお答えいただき、年齢は 40 代が最多、初めての参加が約 90%、「満足（とても満足・やや満足）」と回答した割合は 90%以上、特に満足度の高かったブースとしては、サイアム高島屋ブースであった。お買い物した金額については、昨年度は「500B～999B」が最多であったが、今年度は「500B 未満」が最多、流入経路としては、Facebook（有料広告配信）が最多であった。

・感想としては、「ステージイベントが楽しかった」など、ステージプログラムについての好意的な感想が多く、その他にも「出店数が多かった/会場が広くて良かった」、「子ども、家族と楽しめた」、「お得に買い物できた」、「ワークショップが楽しかった」などの前向きな感想をいただいた一方で「（ラッキードローやキッズコーナーなど）終わっているコーナーがあって残念だった」、「（主に在タイ歴の長く、昔からバザーへご参加いただいている方より）会場が住んでいる地区から遠い」などの意見もいただいた。来場した会員の方へお聞きした「日本人会の施設・活動で、普段よく利用するもの」については優待店と子ども図書館とお答えいただいた方が多かった。来場した未入会の方へお聞きした「日本人会の施設・活動で、興味があるもの」については優待店が最多となり、子ども図書館、一般図書館、同好会に興味を持っていたいただいている方も多かった。

・出店企業へ実施したアンケート結果を報告した。23 社にお答え頂き、売上目標達成についての質問に対しては、「目標を大きく達成した」が 1 社、「ほぼ達成した」が 6 社、「達成しなかった」が 7 社、「かなり下回った」が 2 社、「今回はチャリティーの為売り上げ目標を設定していない」と答えた企業が 7 社であった。出店料の設定については、「高すぎる」が 1 社、「高い」が 5 社、「妥当」が 17 社であった。出店された側として、「良かった（とても良かった・良かった）」と答えた割合は約 80%、アンケートにお答えいただいた全 23 社が「次回参加されたい（是非参加したい・参加してもよい）」と回答いただいた。記述回答のコメントとしては、「自社の商品や活動を知ってもらえてよかった」、「他の事業者との良い交流を持てた」や「2 日間開催となりより多くの来場がありよかった」、「広く開かれたスペースになり来客増になった」など、2 日間開催で且つ会場を広くしたことに對しての好意的なコメントをいただいた一方、「来場者の動線が入口から遠く自社ブース付近に流れにくい」、「タイ人の来場者が少なく増やす告知をしてほしい」などのご意見もいただいた。

・チャリティー団体へ実施したアンケート結果を報告した。全 11 団体にお答え頂き、売上目標達成についての質問に対しては、「目標を大きく達成した」が 3 団体、「達成しなかった」が 1 団体、「今回はチャリティーの為売り上げ目標を設定していない」と答えた団体が 7 団体であった。出店された側として、「良かった（とても良かった・良かった）」と答えた割合は約 90%、全 11 団体が「次回参加されたい（是非参加したい・参加してもよい）」と回答した。記述回答のコメントとしては、出店企業と同様に「自社の商品や活動を知ってもらえてよかった」、「他の事業者との良い交流を持てた」や「2 日間開催となりより多くの来場がありよかった」、「広く開かれたスペースになり来客増になった」など、2 日間開催で且つ会場を広くしたことに対しての好意的なコメントをいただいた。

チャリティー団体の申告を基にした売上合計は、229,429 バーツであり、直接寄付となった。

・出店企業・チャリティー団体へ実施した電源についてのアンケート結果を報告した。出店企業における電源の使用時間については、「夜間も含め常時使用」が 3 社、「バザー実施時間で常時使用」が 10 社、「バザー実施時間の一部で使用」が 4 社、「まったく使用しなかった」が 6 社、チャリティー団体における電源の使用時間については、「バザー実施時間で常時使用」が 2 団体、「バザー実施時間の一部で使用」が 3 団体、「まったく使用しなかった」が 6 団体であった。会場設営に関わる電源設備および電気料金の負担が大きかったため、次年度は無駄のないような電源の配置や利用社には実費を負担頂くような形も検討していきたい。

・ボランティアへ実施したアンケート結果を報告した。73 名のボランティアの方にお答え頂き、初めての方が約 70%、お手伝いとしてご参加いただいたきっかけについては、「所属団体経由での参加」が約 30%、お手伝いのご負担については「特に負担を感じていない」が約 70%、販売する側としての価格設定については「妥当」が約 90%、お手伝いの手順や資料については「良かった（とても良かった・良かった）」と答えた割合が約 80%、会場の立地については「便利」+「普通」が 70%以上、軽食として用意したお弁当は「美味しかった」が約 80%、次回もお手伝いとして「参加したい」+「参加してもいい」と回答した方が約 90%であった。いただいた感想としては、「日本人のコミュニティの場所として有効だった」や「バザーの目的、コンセプトを聞きとても素晴らしいと思った」などの好意的な感想をいただいた一方で「朝のボランティアが早く来たが待機時間が長かった」などのご意見もいただいた。

・10 月 1 日（水）に日本人会本館にて、バザー委員（ボランティア有志の方々）によるお疲れ様会を開催した。皆様からは「ボランティアの同士の繋がりができた」、「2 日目の朝に行った福袋販売が良かった」、「ステージの催しがあったことでとても盛り上がっている雰囲気をもっと伝えることができたのも良かった」などの前向きな意見や「ラッキードローについては高額商品の当選でなくても“おめでとう！”と笑顔で声掛けするなど言い方次第で変わってくるのではないかな」、「外国人の方々はチャリティーと知らない方も多かったように思う。音無しでもずっとチャリティーということをアピールできる映像流す、または垂れ幕などで“チャリティー”と大きく出すなど工夫が必要」など、課題についても話し合った。

・ボランティアやステージ出演にて協力いただいた青少年サークルの皆様からの感想を報告した。「学生ボランティアからは参加して楽しかったという声が聞かれ、担当の時間が終わっても続ける生徒もいた」など好意的な感想をいただいた。また、ボランティア人数が余ってしまう箇所があったなどの課題もご指摘いただいた。一方で少なかったという場所や時間帯もあり、ボランティアの配置については事務局でもコントロールをするのが難しい状況である。皆様より頂いたご意見や反省点については次回活かしていきたい。

・チャリティーバザーにおける事務局の業務分担について報告した。会場側との調整、寄付のお声がけなど中心に、三井物産様・サイアム高島屋様に全面的に協力頂き、事務局の負担軽減となった。一方で今年度は 2 日間開催及び会場が広がったことで、ボランティア集め、出店数の増加や企画の増設（ステージやワークショップ、同好会作品展）、ID カードの増刷など負担増となった部分もある。

・2025 年チャリティー基金運営委員会のスケジュールについて報告した。11 月の理事会で、委員長

より委員を委嘱することになっている。また、昨年同様一般公募とし、申請期間は2025年11月17日（月）～2026年1月4日（日）、2026年2月6日（金）に第一回チャリティー基金運営委員会を開催し審議を行う。2月10日（火）の理事会にて、報告・審議、その後、3月～4月にかけて寄付金を贈呈する予定でいる。

・10月12日（日）にバーン・メーター青少年受入れセンター（鑑別所に相当する施設）で行われたWHITE CANVASのワークショップへ垣内チャリティーバザー実行委員長、バザーボアランティア代表・山川喜美代様、村上事務局長が見学した。画家の阿部恭子様をはじめとするボランティア指導のもと、50名の子ども達が参加した。今回の貴重な機会を提供して頂いた阿部恭子様をはじめとするWHITE CANVASの皆様、そして施設関係者の皆様に、感謝申し上げます。なお、日本人会ではWHITE CANVASのワークショップの画材にかかる費用をチャリティー基金から支援している。

【バザーについてのコメント】

（垣内チャリティーバザー実行委員長）

当初2日開催は身の丈に合っていないのではないかと思いますところはあったが、総じて成功したと言っているのではないかと思います。皆様のご協力のおかげである。個人的な感想としては、チャリティー団体のブースを増やしたり、ステージに出演いただいたり、よりバザーの主旨を意識して来場者にアピールできるイベントになったのではないかと思いますし、タイと日本の繋がりを示すことができたという意味でもとても良かった。いくつかアンケートでご指摘もいただいているが、次回の運営に活かしていければいいと思う。

（奥森チャリティーバザー実行副委員長）

チャレンジングなところはプラスに作用でき、来場された外国人の方々にも喜んでいただいた。一方で反省すべき点については次回改善していけばいい。控室や電圧、机椅子などの実費はかかっているが、今回 ICONSIAM 側のご厚意で会場費75万バーツ相当を無償で提供いただいた。ICONSIAM 側からは「素敵なイベントに参加させていただいた」とのことでお礼をいただいている。会場も埋まってくるので、来年度の日程を年内には早め確定させていけたらと思っている。

（石井理事）

懇和会メンバー延べ26名の方にお手伝いをいただき、1万1千バーツの寄付を集めることができた。来年も是非参加させていただきたい。ワークショップの大正琴については、当初来場者に興味を持っていたかどうか不安だったが、「体験されたい」という方もいらっしゃり好評であった。懇和会ブースを担当いただいた学生ボランティアの高校生も熱心にお手伝いいただいた。

6.（情報共有）理事・監事選挙に向けて（事務局）

・2026年2月20日（金）公示日・立候補受付開始。3月23日（月）立候補受付締め切り。定員未満の場合は、3月23日（月）当選者確定。定員以上の場合、選挙となり4月20日（月）～22日（水）不在者投票日、23日（木）定期総会当日投票日。

・選挙管理委員長をJETRO（日本貿易振興機構）阿部所長、副委員長をJICA（国際協力機構）作道所長に、島田会長よりお願いすることとしている。

・理事・監事立候補の必要書類及び理事・監事当選後に行政所轄へ提出する書類について説明した。

7. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）会報・広報部（井上理事）

・クルンテープ10-12月号を10月10日（金）に発送。表紙は7月19日（土）に実施した運動会の様子、特集はLDHダンスワークショップ、ソフトボール大会、納骨堂90周年記念特集。

・ワム、パノーラ、タイ自由ランドの無料情報誌3誌に掲載する広告を紹介した。

・9月のホームページアクセス状況は、訪問数11,010、閲覧数24,444で、LINE配信した日の閲覧数

が高くなった。前年同月比は、訪問数 99.8%、閲覧数 98.3%、前月比は、訪問数 108.6%、閲覧数 102.8%であった。タイからの訪問数は 71.1%、日本からは 23.6%。前月と比較し、タイから 30.3% 増加、日本からは 16.5%減少している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、千葉、愛知の順に訪問があった。

- ・LINE は 8 回の配信、登録者は前月より 50 名増加し、8,845 名。(有効者数 4,283 名)
- ・Facebook は 50 回の投稿、登録者は前月より 106 名増加し、4,034 名。
- ・Instagram は 56 回の投稿、登録者は前月より 75 名増加し、2,594 名。
- ・X (旧 Twitter) は 8 回投稿し、フォロワーは前月より 31 名増加し、1,458 名となっている。

(2) 教育部 (田中理事)

- ・9 月 30 日 (火) に日本人会別館にて「はじめての英検」講座を開催した。講師はコミュニティ英会話の枝雄二氏。22 名に申し込みいただき、当日は 21 名にご参加いただいた。
- ・2025 年度第 2 回英検について、10 月 5 日 (日) に一次試験 (2~3 級) を日本人会本館にて開催し、合計 257 名の方に受験いただいた。二次試験は 11 月 9 日 (日) に開催する。

(3) 運動部 (河村理事)

- ・9 月の活動について報告した。9 月 7 日 (日) にゴルフ部による第 14 回ゴルフ東西対抗戦を Flora Ville Golf & Country Club にて開催し 80 名の方にご参加いただいた。今回も、昨年に続き、東チームが勝利した。
- ・10 月の活動予定について報告した。10 月 9 日 (木)・16 日 (木) にバドミントン同好会による体験会、10 月 15 日 (水) にヨガ同好会による顔ヨガ講習会を開催予定である。

(4) 厚生部 (安江理事)

- ・9 月の出産準備教室&すくすく会は、プレママクラス、いるかの部屋、親子 de リズム体操、来タイ間もないママ集まれ等、11 イベントを開催。いるかの部屋は、9 月 9 日 (火) に開催し、14 組の親子にご参加いただいた。『幼稚園入園前のお子さんが親子で楽しく通えて集団に慣れていけたら』という願いを込めて 6 月から始まった新しい企画であり、入園へのステップアップを意識して、みんなでお歌を歌ったり、お名前呼びをしたり、ダンスをしたりと、お友だちと一緒に楽しい時間を過ごしていただいた。
- ・9 月のみんなの相談室は、「みんなのお茶会~来タイ 1 年以内の方限定~」を開催し、14 名の方にご参加いただいた。
- ・9 月のメイド紹介ボランティアは、求職 12 人、求人 2 人、成立が 2 組であった。

(5) 文化部 (澤田理事)

- ・9 月の活動について報告した。9 月 7 日 (日) に将棋同好会による将棋大会、9 月 20 日 (土) にクルンテープかるた会によるオンライン大会を開催した。将棋大会は日本人会本館にて開催し、大人 8 名の子ども 8 名の計 16 名に参加いただき、子供の部は総当たり戦で、大人の部は 4 名ずつのリーグ戦で行った。クルンテープかるた会は 64 名の方にご参加いただき、北はチェンマイ、南はハジャイからオンラインによる競技かるたを楽しんでいた。
- ・10 月の活動予定について報告した。10 月 18 日 (土)~23 日 (木) に絵画同好会による作品展を開催する。

(6) 企画推進部 (奥森理事)

- ・9 月の定期レッスンとして、9 月 1 日 (月)~18 日 (木) の期間に日本人会別館にてチャリティーバザーとのコラボ企画であるタイ舞踊集中クラス (ITDA 日・タイ文化交流センター委託・4 名参加) の 1 イベントを開催した。6 日間の集中レッスンを受講いただき、9 月 21 日 (日) にチャリティー

ーバザー内のステージにて練習の成果を披露いただいた。

・9月に4回コースで開催を予定していたHIITトレーニングは委託先のJSS Star Platinum講師の体調不良により2回目以降中止となった。1回は消化しているが委託費は発生せず、参加者には全額返金した。10月に開催予定だった姿勢改善ストレッチ、超・超初級の姿勢改善ストレッチレッスン体験会も同様に開催中止となったが、その後JSS Star Platinum講師より連絡があり、「体調も回復し、レッスン再開に向けて準備が整いつつある」とのことで11月より再開する。

・10月の定期レッスンについて報告した。10月はタイ語基礎クラス（リアルクラス）の1イベントを開催中である。

・11月の定期レッスン予定について報告した。11月はロイクラトンの灯籠作り体験、タイ舞踊基礎クラス、HIIT トレーニング、からだ整えストレッチ体験会の4イベントを開催予定。JSS Star Platinumに委託しているフィットネスレッスンについては当初はアルティメットファイトを予定していたが、9月に途中で中止となったHIIT トレーニングを再度開催することとした。なお、9月に申し込みいただいた方を優先的に受け入れている。からだ整えストレッチ体験会についてはバンコクにて健康コンサルティング事業を行うWe' llgo（ウェルゴ）に新たに委託し、開催する。

・11月21日（金）にサイアム高島屋との共催で和菓子セミナーをサイアム高島屋VIPルームにて開催する。昨年、一昨年は婦人部にて行ったが、婦人部の廃部に伴い、今年は企画推進部にて行う。

（7）事業部（神原理事）

・9月24日（水）に日本人納骨堂にて秋季法要を執り行った。堂守（管理僧）が不在のため高野山真言宗金剛峯寺から今川宗務総長、桐生国際局長、林国際局課長、随行杉本師が来タイされ、在タイ日本国大使館の大鷹大使、成嶋領事部長、川村広報文化部長をはじめ、島田会長、御霊に縁のある方やお彼岸のお参りに来られた方々27名にご参列いただいた。法要終了後、納骨堂近くのレストランにて、今川宗務総長、桐生教学部長、林教学課長、杉本師、成嶋領事部長、川村広報文化部長をお招きし、懇親会を実施、日本人会側は、島田会長夫妻、石井・日高理事、小野・日高名誉会員夫妻、村上事務局長、佐藤・松浦職員が参加した。

<ご供花> 在タイ日本国大使館様、盤谷日本人商工会議所様

<ご供物> 日本料理屋「花屋」様

<前日のお掃除> 日高朝代様、島田名津様、山川喜美代様、吉田幸江様、濱田文子様

<お布施> 藤田強様、妙子ブンチャイ森様、山川喜美代様、日高龍雄様、濱田文子様、藪田かず美様、Chiraporn Nualanart 様、川満富子様、平田真啓様、油井宏一郎様、小野雅司様、黒川かほる様、松田華香様、黒川季代子様、タイ立正佼成会様、高橋芳子様、政岡絢子様（順不同）

・9月27日（土）に日本人会本館にて瀧川福祉基金共催「敬老の日祝賀会・敬老の日の集い」を開催した。今年75歳を迎えられる1950年（昭和25年）寅年生まれの方である佐々木英児様、正枝チュンチュラック様、年子スニーアンスワン様、河邑豊一様、ジョッシウォレス様の4名を含む、総勢38名の参加者でお祝いをした。島田会長、滝川福祉基金小野理事長、大使館成嶋領事部長、日高龍雄名誉会員、石井理事、日高理事、神原理事にもご出席いただいた。

・日本人納骨堂の新管理僧（堂守）は杉本政明師（僧名：せいめい、本名：まさあき）に決定した。杉本師は2000年1月生まれの25歳で神奈川県横浜市緑区福泉寺徒弟。11月17日（月）に高野山真言宗金剛峯寺にて辞令伝達式（石井理事・村上事務局長参列）、11月19日（水）にバンコク到着予定、12月12日（金）に得度式を執り行う予定である。

・12月12日（金）～16日（火）の日程でタイ国開教留学僧の会が来タイされる。1978年11月に第一回を実施し、約3年おきに結成し今回が16回目となる。12月13日（土）に日本人納骨堂建立90年記念法要を実施する。

(7) 食堂運営委員会（石井理事）

・9月の食堂運営状況について報告した。食堂のスペースを今の177㎡から185～190㎡まで拡張し、家賃も上げるという方向で食堂側へ打診し、納得をいただいた。本館における図書館部分を削り、その分を食堂部分へ拡張する作業について土田理事へ相談している。できれば年末年始頃に工事を行えたらと思っており、食堂が営業している中でも工事が行えないか業者と確認していく。

(8) 報道代表（小谷代表）

・11月6日（木）にタイのマスメディア THE STANDARD と Nikkei が共同でセミナーを開催する。アユタヤ銀行・大久保理事にもご登壇をいただき、日タイの企業連携などについてお話しする。

(9) 青少年部（事務局）

・9月の活動について報告した。9月6日（土）に剣道サークルにてサークル引き継ぎ式&加藤先生送別会、9月20日（土）に柔道サークルにて Buranawit School の柔道場への出稽古を実施した。9月21日（日）のチャリティーバザーではステージでブラスバンドサークル28名による演奏及び剣道サークル25名による演舞を披露した。

・10月活動予定について報告した。10月は柔道サークルによる Buranawit School 柔道場への出稽古、10月4日にバスケットボールサークルによる練習試合を実施予定である。

8.（情報共有）2026 年会議日程・事務局休日（事務局）

・2026 年の会議日程と事務局休日を報告した。

9. 9 月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

10. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、奥森、垣内各副会長、米増、大久保、小田原、神原、熊本、大内、澤田、安江、河村、田中、土田、井上、谷口、近藤、油井、石井各理事、白石、井原各監事、森下 JETRO 代表、小谷報道代表、猪股氏、長縄氏、江草氏、太田氏、事務局（村上・松田陽平・松田華香）